

青森県立郷土館基本的運営方針

青森県立郷土館は、昭和48年に「ふるさとの過去を語り現在を考え未来を展望する」総合博物館として設置され、以来長きにわたり、県民が郷土に誇りをもち、夢や希望を感じられるよう、郷土に根ざした活動を行ってきました。

総合博物館としての当館の使命は、社会教育施設として資料収集・保存、展示、調査研究、教育普及などの活動を通して、本県の歴史や自然、文化などについて誰もが幅広い理解を得られるように支援することにあります。今後も広く県民の意見を取り入れ、経営資源を最大限に生かしながら、未来に向け、下記の博物館活動の充実に努めてまいります。

1 資料収集・保存

当館は、開館以来、一貫して郷土に関する資料の収集・保存に努めています。県民・国民共有の財産である貴重な資料の収集・整理に努め、良好な状態で次の世代に継承していきます。

2 展示

- (1) 考古、自然、歴史、民俗、りんご、郷土学習室、先人及び風韻堂の8常設展示室で、収蔵資料の中からテーマ毎に精選した資料を効果的に展示します。
- (2) 常設展示室に解説員を配置し、展示資料について分かりやすい解説や、説明資料の配付により、来館者の学習活動を支援します。
- (3) 県民の関心の高いテーマについて、各方面から資料を集めて展示する特別展や民間事業者との共催展などにより、多彩な展示活動を実施します。

3 調査研究

考古、自然、歴史、民俗、産業、美術、先人の各分野において、複数年の期間をかけて行う館外調査及び収蔵資料に関する館内研究を実施するほか、教育普及活動を一層充実させるための研究を進めます。

4 教育普及

- (1) 郷土館資料及び郷土についての講演会・講習会、観察会、体験活動などを実施します。
- (2) 郷土館資料及び郷土に係るレファレンスサービスを行います。
- (3) 学校の学習活動を支援する活動のほか、公共施設や福祉施設などを支援する活動も実施します。

5 連携

- (1) 県内外の博物館及び図書館等の社会教育施設、民間事業者などと積極的に連携・協力し、博物館としての総合力を高めます。
- (2) 博物館国際交流として、ロシア連邦ハバロフスク地方郷土博物館やアメリカ合衆国メイン州立博物館と文献資料の交換を実施します。

6 施設

- (1) 来館者が安全・快適に利用できるよう、施設・設備の整備と管理を行います。
- (2) 公共的な施設として、地震等の自然災害や火災等に備え、防災意識の向上と危機管理体制の強化を図ります。
- (3) ライフサイクルコストを勘案し、施設・設備の効率的維持管理を行います。

7 情報発信

- (1) 郷土館の利用機会の拡大、調査研究の成果の普及のために、パンフレット、館報、展示図録、研究紀要などを作成し、郷土理解の増進を図ります。
- (2) 個人情報に配慮しながら、WEBなど、様々な媒体を積極的に活用し、郷土館活動への一層の理解の増進を図ります。
- (3) 県民が郷土を理解する手助けをするとともに、郷土の歴史や文化を県外に広く発信します。